

事業優先順位		1 細事業:2次予防事業				整理番号		01				
目的		介護が必要となるおそれのある生活機能の低下している人を早期に発見し、介護予防について支援すること。										
目標		65歳以上の市民で要介護認定を受けていない人の半数を対象に基本チェックリストを郵送し、二次予防事業対象者の把握に努める。										
事業実施主体		一部委託	事業開始年	平成23年度	根拠法令	介護保険法						
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較		
	事業費 (決算額) (千円)		10,978	3,522	7,456	コスト情報・従事職員数	総コスト (千円)		16,620	5,903	10,717	
	一般財源		2,902	965	1,937		内訳	事業費		10,978	3,522	7,456
	国府支出金		4,554	1,442	3,112			人件費		5,642	2,381	3,261
	地方債		0	0	0			公債費		0	0	0
	支払基金交付金		3,522	1,115	2,407		一人あたり (円)		149	52	97	
			0				世帯あたり (円)		352	125	227	
			0				参考	職員数 (人)		0.74	0.30	0.44
			0					再任用職員数 (人)		0.00	0.00	0.00
	今後の方向性		地域包括支援センター等と連携し、二次予防対象者が継続して介護予防に取り組めるようにする。									
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の市民							
	A	B	B									

<介護予防教室>

健康チェック（血圧測定等）を行い、専門スタッフが健康に関する講話と体操（ストレッチ・筋力アップ）を行います。



細事業：2次予防事業

1. 2次予防事業

2次予防事業把握事業で把握した2次予防対象者に通所型及び訪問型介護予防事業を実施した。

(1) 2次予防対象者把握事業

65歳以上で要介護・要支援認定を受けていない市民を対象（奇数月生まれ）に、基本チェックリストを実施した。

配布数 12,592通
回収数 9,695人（回収率 77.0%）
内 2次予防対象者 2,403人（24.8%）

(2) 通所型介護予防事業

2次予防対象者に筋力向上・栄養改善・口腔機能向上のプログラムを併せた総合教室、もの忘れ予防教室、うつ予防教室を行い、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが送りつけられるように、2次予防教室を保健センターと三日市市民ホールで開催した。

<2次予防介護予防教室>

種 類	回 数	参加実人数	参加延人数
総合教室（いきいき健康アップ教室）	12回コースを3教室	82	827
もの忘れ予防教室（脳げんき教室）	5回コースを1教室	36	158
うつ予防教室（こころリフレッシュ教室）	4回コースを1教室	37	128

(3) 訪問型介護予防事業

2次予防対象者で心身の状況等のために、通所による介護予防事業への参加が困難で、訪問型介護予防事業が必要な高齢者を対象に、訪問による介護予防事業を実施した。

<訪問型介護予防事業>

種 類	参加実人数	参加延人数
訪問型介護予防事業	30	157

※ 2次予防対象者

…要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の市民を対象に、基本チェックリストを実施した結果生活機能低下が疑われるもの。